

# 市内の出来事

～ つくばみらいのわだい ～



右が田中さん。左はマルセル・タイ氏。なんと、かの有名な画家ポール・ゴーギャンのお孫さんだそうです！

## スタンドグラスで数々の受賞

市内にスタンドグラス作家として、世界的に活躍している方がいらっしゃいます。長渡呂に在住の田中瑠衣子さん（本名：田中かずこさん）です。

田中さんは、平成5年に見たパリのノートルダム寺院のバラ窓の美しさに目を奪われ、趣味からスタンドグラスを始めました。その後さまざまな先生に師事し、多くのことを吸収した田中さんは、数々の作品展に出展を続け、主な功績としては、去年11月にブルガリア国際芸術博覧会「ハート・アート・イン・ソフィア」において、1点の作品で「ハート・アート・イン・ソフィア鳳凰賞」と「ベストクリエイティブアーティスト賞」をダブル受賞し、ブルガリア文化親善名誉作家として認定されました。12月の第12回日本美術アートアカデミージャパン2006では、「マルセル・タイ・G賞」を受賞しました。

そして、今年の「美術年鑑」には、「伝統工芸・異色作家」として掲載され、芸術家としての地位を確立しました。

現在田中さんは、自宅兼アトリエで次の作品出展に向けた制作活動のかたわら、教室を開催して生徒さんたちの指導にも当たっています。

スタンドグラスは、いい物は100年でも200年でも後世に残るそうです。田中さんは、「美しい・優しい・愛らしい」を作品に表現するように心がけているとともに、後悔するようなものをつくらぬよう、「作りたいものを作りたいときに作る」というスタイルで制作活動を続けています。趣味の延長として楽しく作品を作るという姿勢が、素晴らしい作品を作り上げるのでしょうか。

今後もますますの活躍が期待されます。



田中さんの自宅に並ぶ作品の数々。スタンドグラスの光が、壁や天井などに映し出されます。  
※カラーでお見せできないのが残念です。



● 成島志げさん（豊体23）  
☎ 58・7126

表紙の「つるしびな」の作者、成島志げさん（豊体）。取手市に住む友人に教わりながら、お金をかけず、ある布で作ることを心がけ、見事な「つるしびな」ができました。このようにきれいに飾ったのは今年初めてだそうです。「みんなの協力ででき上がった。来年はもっと数を増やしたい」と意気込みを語ってくれました。

なお、「気軽に見に来てください」とのことなので、興味のある方は事前に連絡したうえ、ぜひ成島さん宅を訪ねてみてください。

※3月末まで

手作りの「つるしびな」